

令和元年度 県政モニターアンケート調査

テーマ：災害時の備蓄について

福岡県総務部防災危機管理局防災企画課

1 調査の目的

災害時は、断水、停電、ガス停止などライフラインへの影響に加え、流通機能の麻痺に伴い食糧などの生活物資の入手が困難になる事態が想定される。

そのため福岡県では、日常の食糧を多めに購入し、消費の都度買い足すことにより常に一定量の食材を保有する方法も含め、飲料水、食糧などの生活物資の3日分以上の備蓄に努めるよう呼びかけをふくおか県政出前講座等で行っている。

現在の県民の備蓄意識、各家庭における食料などの備蓄の状況を把握し、今後の施策の参考とする。

2 調査時期

9月19日～9月30日（第3回）

3 回答者の構成

		計	北九州	福岡	筑後	筑豊
総数	-	362 (100%)	90 (24.9%)	185 (51.1%)	52 (14.4%)	35 (9.7%)
性別	女性	222 (61.3%)	53	110	33	26
	男性	139 (38.4%)	37	74	19	9
	その他	1 (0.3%)	0	1	0	0
年代別	20代以下	59 (16.3%)	13	32	10	4
	30代	84 (23.2%)	21	40	14	9
	40代	88 (24.3%)	25	42	11	10
	50代	55 (15.2%)	13	31	6	5
	60代	52 (14.4%)	14	22	9	7
	70代以上	24 (6.6%)	4	18	2	0

4 回答結果

問1

あなたは、飲料水を何日分備蓄（買い置き）していますか。
（1つだけ）

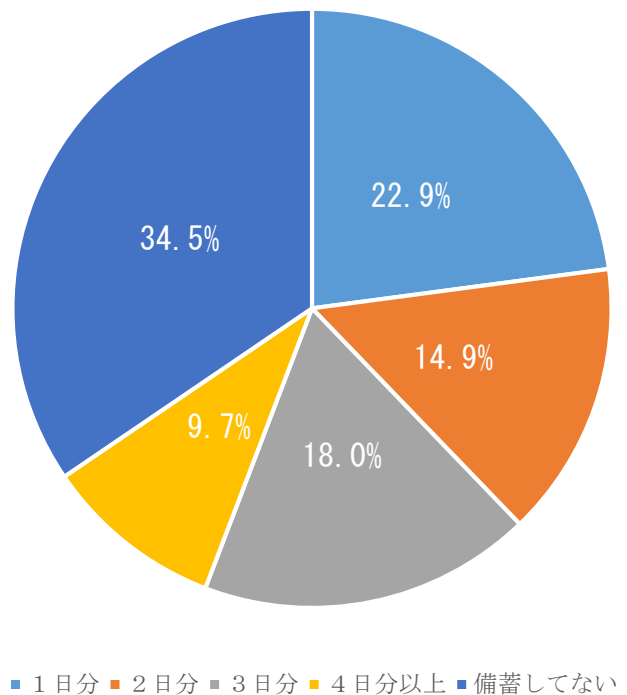
- 1 1日分
- 2 2日分
- 3 3日分
- 4 4日分以上（何日分か具体的に）
- 5 飲料水は備蓄（買い置き）していない

回答

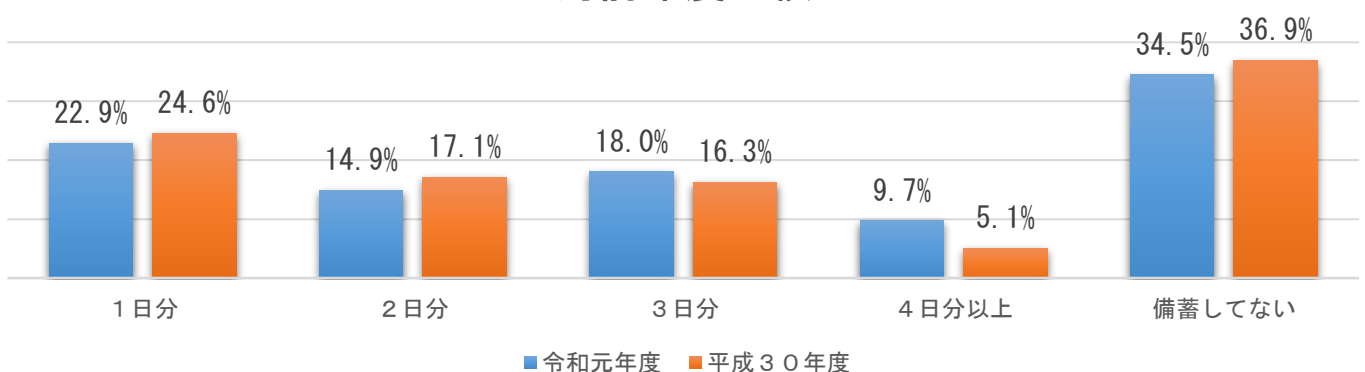
全体（n=362）

	令和元年度 合計	【参考】 平成30年度	対前年度 増減
回答者数	362	374	-12
件数計	362	374	-12
(%計)	100.0%	100.0%	0
1日分	83 22.9%	92 24.6%	-9 -1.7%
2日分	54 19%	64 17.1%	-10 1.9%
3日分	65 18.1%	61 16.3%	4 1.8%
4日分以上	35 9.7%	19 5.1%	16 4.6%
備蓄なし	125 34.5%	138 36.9%	-13 -2.4%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

令和元年度合計
(飲料水備蓄状況)



対前年度比較



問1-2

4日以上は、何日分か具体的に。

回答 (抜粋)

・ 4日分 8人 ・ 5日分 6人 ・ 7日分 7人 ・ 8日分～14日分 10人

問2

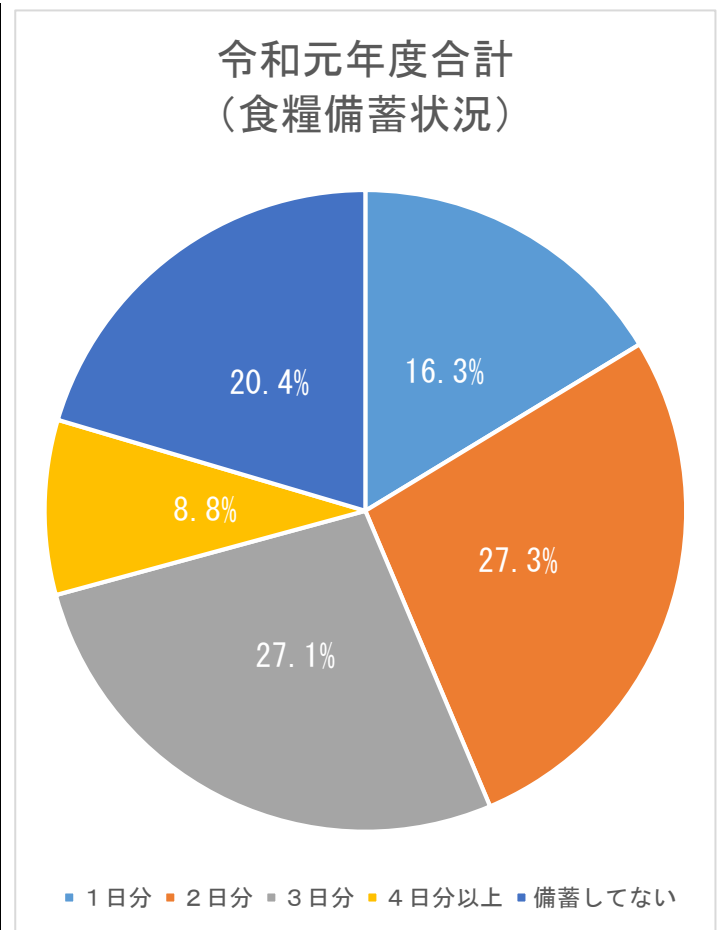
あなたは、食糧を何日分備蓄（買い置き）していますか。
（1つだけ）

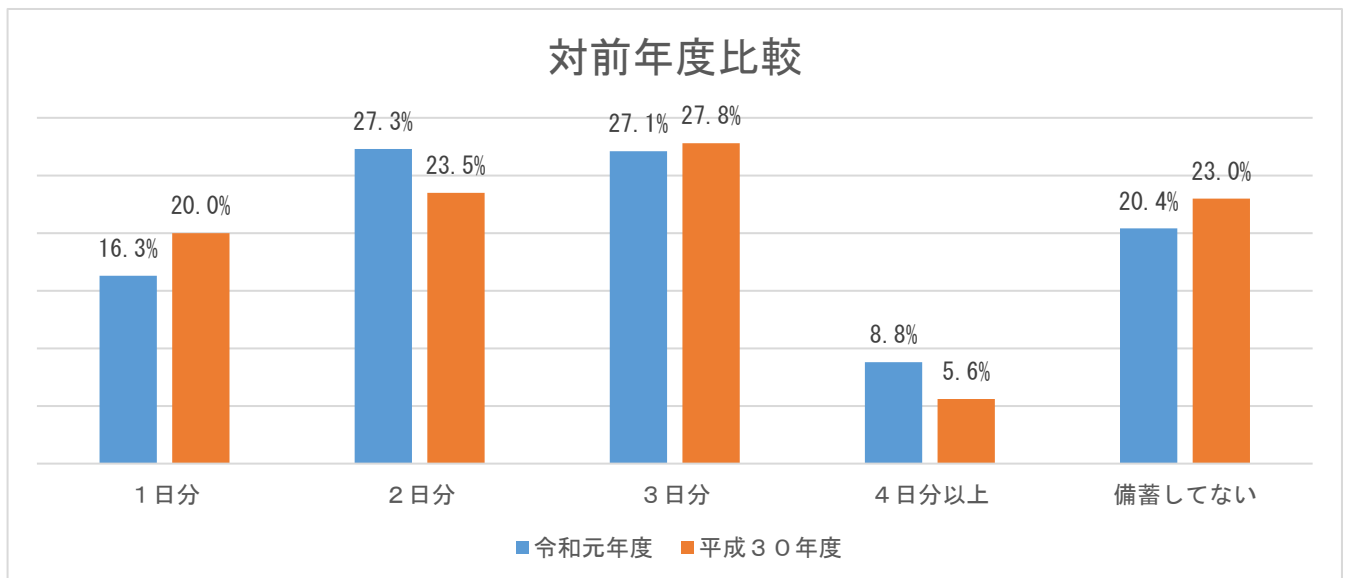
- 1 1日分
- 2 2日分
- 3 3日分
- 4 4日分以上（具体的に何日分）
- 5 食糧は備蓄（買い置き）していない

回答

全体（n=362）

	令和元年度 合計	【参考】 平成30年 度	対前年度 増減
回答者数	362	374	-12
件数計	362	374	-12
(%計)	100.0%	100.0%	0.0%
1日分	59 16.3%	75 20.0%	-16 -3.7%
2日分	99 27.3%	88 23.5%	11 3.8%
3日分	98 27.1%	104 27.8%	-6 -0.7%
4日分 以上	32 8.8%	21 5.6%	11 3.2%
備蓄なし	74 20.4%	86 23.0%	-12 -2.6%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%





問2-2

4日以上は、何日分か具体的に。

回答 (抜粋)

・ 4日分 2人 ・ 7日分 15人 ・ 14日分 2人 ・ 1カ月分 2人 ・ 1年分 1人

問3

問1又は問2で「5 (備蓄していない)」を選択された方にお尋ねします。

あなたが飲料水や食糧を備蓄 (買い置き) していないのはなぜですか。

(1つだけ)

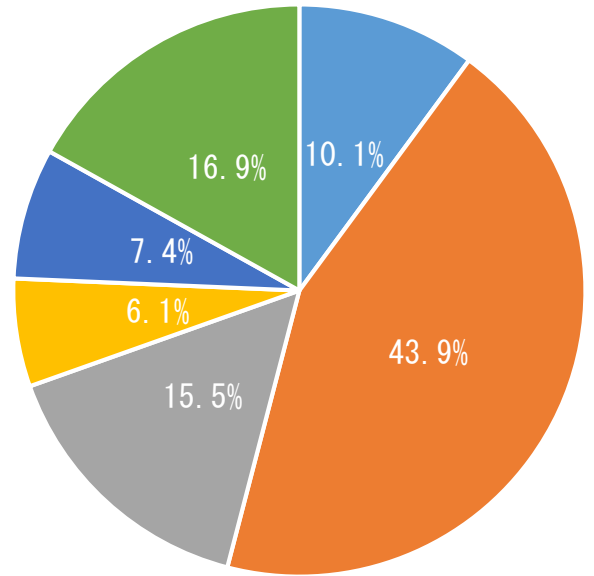
- 1 災害がすぐには起きないと思うから
- 2 消費期限等の管理が難しく、面倒だから
- 3 忙しく時間がないから
- 4 必要ないと思っているから
- 5 避難所に避難すれば必要な物資を供給してくれると思っているから
- 6 その他 (具体的に)

回答

全体 (n=148)

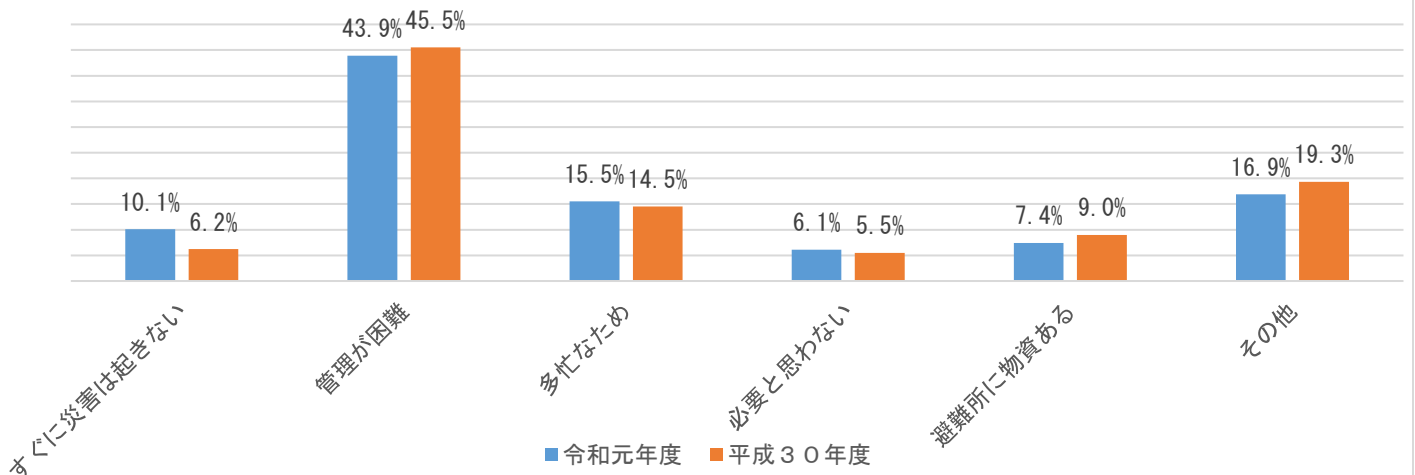
	令和元年度 合計	【参考】 平成30年度	対前年度 増減
回答者数	148	145	3
件数計	148	145	3
(%計)	100.0%	100.0%	0.0%
1 すぐに 災害は起 きない	15 10.1%	9 6.2%	6 3.9%
2 管理が 困難	65 43.9%	66 45.5%	-1 -1.6%
3 多忙の ため	23 15.5%	21 14.5%	2 1.0%
4 必要と 思わない	9 6.1%	8 5.5%	1 0.6%
5 避難所 で物資供 給がある	11 7.4%	13 9.0%	-2 -1.6%
6 その他	25 16.9%	28 19.3%	-3 -2.4%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

令和元年度合計
(買い置きをしない理由)



- すぐに災害は起きない
- 管理が困難
- 多忙なため
- 必要と思わない
- 避難所に物資ある
- その他

対前年度比較



問3

その他（具体的に）

回答（抜粋）

- ・災害がほとんどない地域だから。
- ・冷蔵庫に収容能力がそれほどないから。
- ・しなければな、と思いながらもいつか、いつかと思い災害危機に注意を欠いている。
- ・保管する場所がない
- ・意識が低く重要度が低いので特に必要と思っていない。
- ・家族が多く、食べ盛りの子どものもいるので、家族全員分の備蓄を完璧にしようと考えたと、毎日大量の買い出しに行かないといけないのではないかと計算した。時間的にもなかなか難しい。保管場所もない。
- ・置き場所の確保の問題。（実際は楽観視しているのだと思います）
- ・用意しておかないとと分かっているが、なかなか実行にうつせていない。
- ・買い置きしても 家族に 消耗されの繰り返しです。
- ・備蓄分の消費期限が切れてしまい、買い足しを忘れていたから。
- ・災害用に備品していない普段の常備で賄えると思う
- ・備蓄のつもりではないが、そのまま食べられる食料は置いている。
- ・今までで、考えたことなかった
- ・災害があった場合は海外も含め避難する予定のため
- ・家人の無理解。
- ・必要だと思っているものの、まだ実行に移せていません。

問4 災害時に役立つ生活物資として、どのようなものを保有していますか。
該当するものをすべて選んでください。

- 1 救急セット
- 2 簡易トイレ
- 3 卓上コンロ・ガスボンベ
- 4 懐中電灯
- 5 携帯ラジオ
- 6 乾電池（買い置き分）
- 7 寝袋
- 8 その他（具体的にいくつでも。）
- 9 特に保有していない。

回答

全体 (n=362)

	令和元年度	【参考】	対前年度
	合計	平成30年度	増減
回答者数	362	374	-12
件数計	1271	1,254	17
(%計)	351.1%	335.2%	15.9%
救急セット	164	180	-16
	45.3%	48.1%	-2.8%
簡易トイレ	83	63	20
	22.9%	16.8%	6.1%
卓上コンロ	175	162	13
	48.3%	43.3%	5.0%
懐中電灯	289	301	-12
	79.8%	80.5%	-0.7%
携帯ラジオ	169	171	-2
	46.7%	45.7%	1.0%
乾電池	241	234	7
	66.6%	62.5%	4.1%
寝袋	78	74	4
	21.5%	19.8%	1.7%
その他	45	38	7
	12.4%	10.2%	2.2%
保有なし	27	31	-4
	7.5%	8.3%	-0.8%
無回答	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%

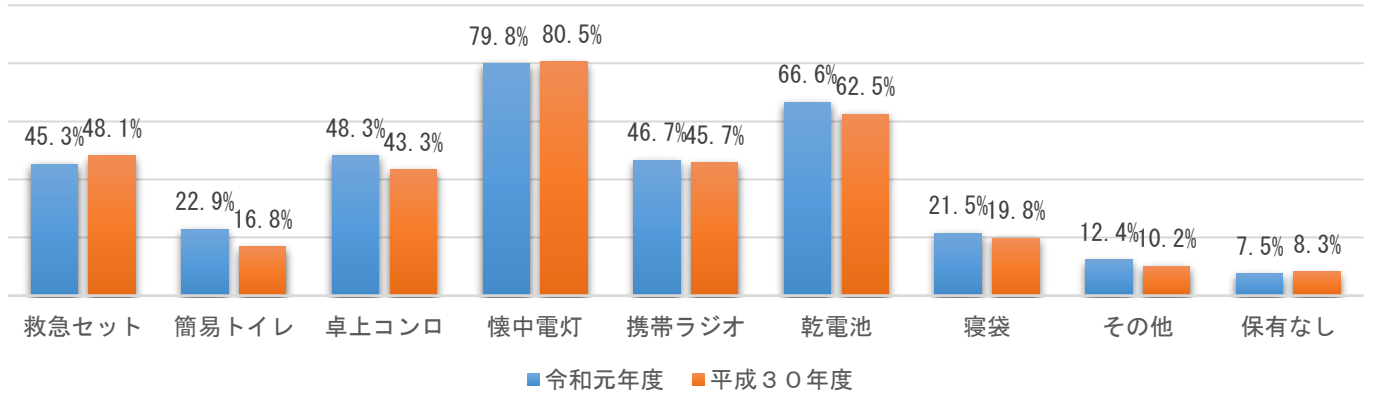
問4-2

その他で備蓄しているもの

回答 (抜粋)

- ・アルミホイール
- ・ウエットティッシュ
- ・オムツ
- ・かんたん湯沸かし器 POT
- ・キャンプセット
- ・ゴミ袋(45L)
- ・サランラップ
- ・タオル
- ・ティッシュペーパー
- ・テント
- ・ブルーシート
- ・ヘッドライト
- ・ヘルメット
- ・ホイッスル
- ・ホッカイロ
- ・マスク
- ・モバイルバッテリー
- ・ライター
- ・安全靴
- ・軍手
- ・携帯浄水器
- ・工具セット
- ・常備薬
- ・水タンク
- ・発電機
- ・保温シート
- ・防刃手袋

対前年度比較 (備蓄物資の種類)



問5

あなたは、すぐに持ち出せるよう非常用持出袋を準備していますか。

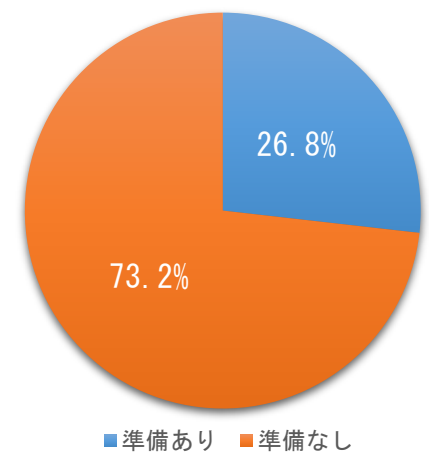
- 1 準備している
- 2 準備していない

回答

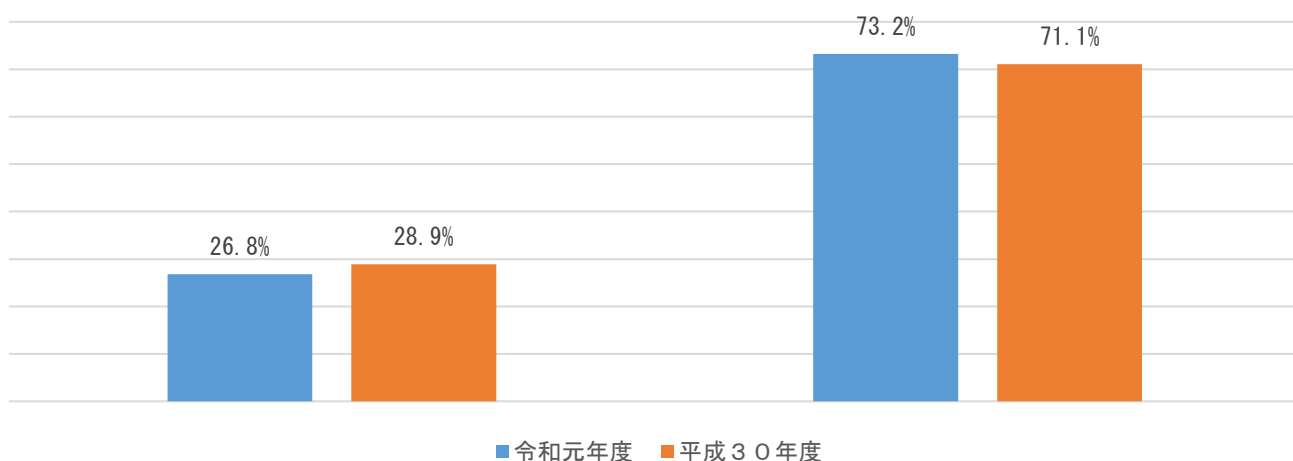
全体 (n = 362)

	令和元年度 合計	【参考】 平成30年 度	対前年度 増減
回答者数	362	374	-12
件数計	362	374	-12
(%計)	100.0%	100.0%	0.0%
準備あり	97	108	-11
	26.8%	28.9%	-2.1%
準備なし	265	266	-1
	73.2%	71.1%	2.1%
無回答	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%

令和元年度合計 (非常用持出袋の準備)



対前年度比較



問6

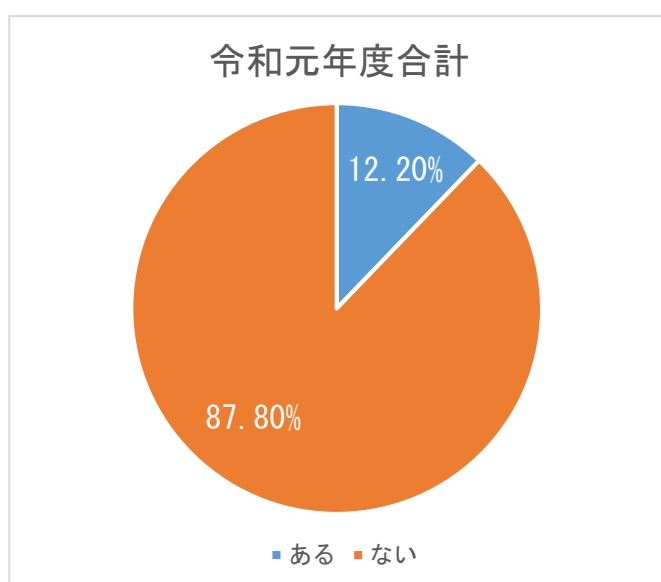
災害時の備蓄について、これまでの設問以外に意見がありますか。

- 1 ある（問6-2に具体的に）
- 2 特にない

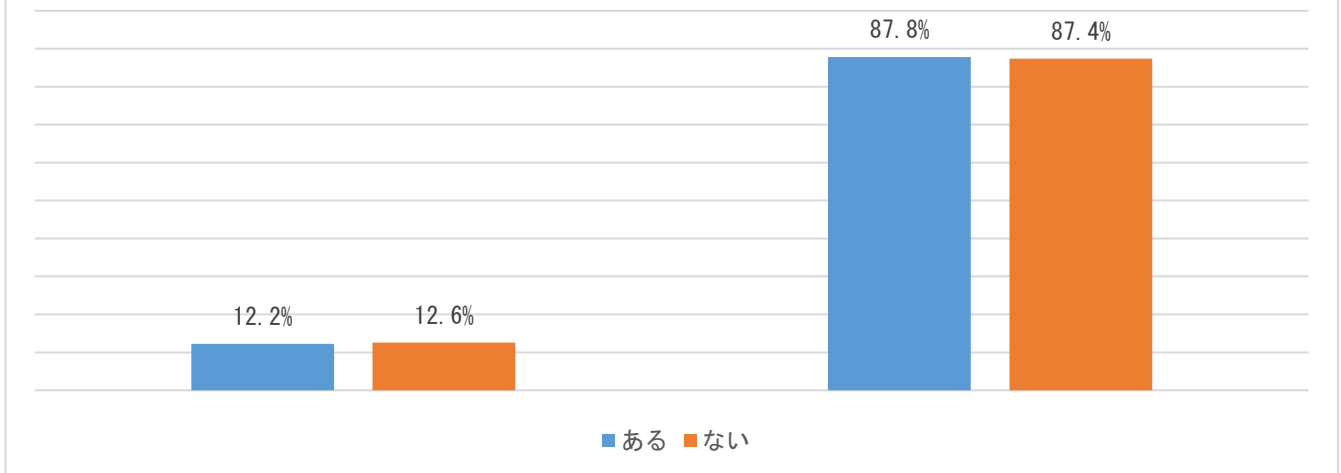
回答

全体（n=374）

	令和元年度 合計	【参考】 平成30年度
回答者数	362	374
件数計	362	374
(%計)	100.0%	100.0%
1 ある	44 12.2%	47 12.6%
2 ない	318 87.8%	327 87.4%
無回答	0 0.0%	0 0.0%



対前年度比較



問6-2

具体的な意見

回答 (抜粋)

- ・災害への備えは、どこかで災害が起こると注意しますが、だんだんその意識が薄れてくるように感じます。定期的にメディアなどが、便利な災害グッズの紹介番組などをして、防災意識を維持することが必要なのでは
- ・非常時に個人として何を用意しておいたら良いのか、いまいちよくわからない部分があるので、リスト化したものを福岡市のLINEなどで半年に一回くらいリマインドしていただくと有難い。
- ・災害はいつ起こるかわからない、忘れたころに起こるので、常に、毎月でもテレビラジオSNSなどで災害の備蓄の必要性を発信してほしい。
- ・マンションなど特に大型の集合住宅や、公民館学校など、合同の災害時の備蓄をしておいたらどうでしょう。マンションに避難してくるといっても想定できるので、町内などでみんなで備蓄するという考えもあると思います。
- ・自宅に非常用持出品を準備していない家庭が多い。他に頼る人が多いと支援物資は不足するばかりなので、まずは個人個人が自分を守る努力をすることをもっと力入れてPRしてほしい。
- ・福岡は災害が少ないので、と思っている方が大多数なのではないでしょうか。以前静岡県に住んでいましたが明らかにこちらより防災に対する意識は高かったです。備蓄ではありませんが、幼稚園、小学校では防災頭巾は必須でしたし、災害時の子供たちのお迎えや受け渡しに関するフローチャートもしっかり作られていました。
- ・備蓄はしないとイケないなあと思いつつ何もしていないので、災害対策のイベント等が行われると意識が高まる気がします。例えば保存食の試食会や、備蓄方法など学ぶ機会があればと思います。
- ・実際に準備していても、置き場によっては、家屋倒壊などで使えないかも知れないと思うのですが、実際に役に立つ管理の仕方をもっと知らなければと思います。
- ・災害時情報が飛び交い、錯綜して、物資が集まり過ぎたり、交通混乱も起きるので、流通機関に在庫を増やして、敏速で新しい物を届ける、システムが必要